

平成21年度

事業報告書

自:平成21年 4月 1日

至:平成22年 3月31日

財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

目 次

	(頁)
1. 一般会計事業	1
2. 麻薬・覚せい剤啓発事業(財団法人JKA補助)	3
3. 覚せい剤等撲滅啓発事業(厚生労働省委託)	3
4. 国連支援募金事業	4
5. 海外技術研修員研修事業(独立行政法人国際協力機構委託)	5
6. 子育て支援基金助成事業(独立行政法人福祉医療機構)	6
7. 社安研補助事業(財団法人社会安全研究財団)	8
8. 広報・普及事業(収益事業)	8

1. 一般会計事業

事業名	時期	事業内容
1 啓発普及事業 (1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ○ 中央大会 ○ 地域キャンペーン	6月～7月 6月 6月～7月	6・26国際麻薬乱用撲滅デーを中心に全国的に展開した。 6月21日、東京・新宿「新宿駅西口イベントコーナー」で開催した。 全国の保健所等を起点として、街頭キャンペーンを実施した。
(2) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動	10月～11月	有識者による講演、薬物乱用防止功績者の表彰等を内容とする地区大会を、関東信越地区(神奈川大会)ほか全国6地区(国・県主催、本センター後援)において開催した。
2 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	10月～3月	1986年にWHOが提起したモルヒネを使用した疼痛治療法(WHO方式がん疼痛治療法)が我が国において必ずしも十分に普及していないことに鑑み、医療関係への普及促進を図り、合わせて、医療用麻薬の適正使用を推進するための講習会を実施した。(平成7年度からの継続事業) (1) 主催者 : (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター 厚生労働省 (財)日本薬剤師研修センター(大阪会場) 開催地都道府県等 (2) 受講対象者 : 医療従事者、都道府県麻薬担当者、薬業関係者 (3) 開催日・会場・実施方式 ○ 平成21年10月 3日 札幌サンプラザ(北海道) 質疑応答重点方式 ○ 平成21年11月28日 置賜総合文化センターホール(山形県) 質疑応答重点方式 ○ 平成21年12月20日 教育会館(大分県) 質疑応答重点方式 ○ 平成21年12月26日 文化会館小ホール(奈良県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 1月 9日 広島市南区民文化センター(広島県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 1月16日 地場産業振興センター(石川県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 1月23日 長野市サンパルテ山王(長野県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 1月31日 ホテル東日本(岩手県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 2月 6日 つくば国際会議場(茨城県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 2月20日 高新文化センター(高知県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 2月27日 くひきメッセ国際会議場(島根県) 質疑応答重点方式 ○ 平成22年 3月 6日 大阪市中央公会堂(大阪府) 一般講義方式 (4) 参加者: 2,169人

事業名	時期	事業内容
3 薬物乱用防止啓発 資材等の制作	12月	薬物乱用防止について、わかりやすく解説した読本を編集し、厚生労働省に納付した。
4 理事会	6月 3月	理事会開催（平成21年 6月19日 日比谷・松本楼） 理事会開催（平成22年 3月19日 日比谷・松本楼）
5 評議員会	6月 3月	評議員会開催（平成21年 6月24日 日比谷・松本楼） 評議員会開催（平成22年 3月23日 日比谷・松本楼）

2. 麻薬・覚せい剤啓発事業(財団法人JKA補助)

事業名	時期	事業内容
1 啓発資材の開発・普及	6月～7月	(1) 啓発資材の製作・配布 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動および「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動 (6月20日～7月19日)期間を重点として配布した。 ○ キャンペーンキャラクターポスター作成・配布
2 広報誌の出版	8月 2月	ニュースレター第81号発行・配布 ニュースレター第82号発行・配布

3. 覚せい剤等撲滅啓発事業(厚生労働省委託)

事業名	時期	事業内容
1 啓発用キャラバンカー 運行事業	4月～3月	各種大会、学校等に対し種々の啓発資材を装備した薬物乱用防止キャラバンカーを運行し、予防啓発活動を全国的に展開した。 (1) キャラバンカーの主な活動地区 1号車・・・北海道地区 2号車・・・関東地区 3号車・・・関東・甲信地区 4号車・・・東海・北陸地区 5号車・・・中国・四国地区 (2) 稼働日数 631日
2 地域対話集会の開催	11月～1月	○ 平成21年11月18日 福岡県田川郡福智町 ○ 平成21年12月 1日 鹿児島県薩摩川内市 ○ 平成21年12月 6日 広島県廿日市市 ○ 平成21年12月11日 大阪府箕面市 ○ 平成22年 1月 9日 山口県岩国市
3 中堅指導員養成事業	10月	薬物乱用防止中堅指導員研修会 ○ 開催日 平成21年10月22日～23日 ○ 場 所 石垣記念ホール(東京都港区) ○ 目 的 小学校等において啓発活動ができる中堅的な指導員を養成するための研修 ○ 参加人数 143人

4. 国連支援募金事業

事業名	時期	事業内容
1 募金活動 (1) 街頭キャンペーン (2) 年間を通じた募金活動 (3) 募金活動資材の製作等 (4) 募金額	6月～7月 通年 3月	(1) 実施内容 平成21年6月20日～平成21年7月19日 (2) 実施機関 主催：(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、厚生労働省、都道府県 協賛：国連薬物犯罪事務所(UNODC)、薬物乱用対策推進会議ほか10省庁 後援：全国子ども会連合会、海上保安協会など47団体 (3) 実施方法 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と合わせて、6.26ヤング街頭募金キャンペーンに参加したボランティアの協力を得て実施した。 (1) 募金箱の配布 (2) 職域募金活動:官公庁、企業等の職域組織を対象に実施 (1) 募金活動用資材(趣意書、募金箱、募金振込用紙等) (2) 礼状(はがき)製作・発送 募金額:48,178,096円(平成20年12月～平成21年12月)
2 適正化委員会	12月	日時：平成21年12月24日 場所：霞山会館(東京都千代田区) 議案：① 平成20年度募金特別会計決算報告に関する件 ② 平成21年度募金活動結果報告に関する件 ③ 平成21年度募金特別会計執行計画に関する件 ④ 平成21年度民間国連ヤング大使に関する件
3 国連に対する寄付の実行	3月	国連(薬物犯罪オフィス)に対する寄付 17000,000円

(注) 民間国連ヤング大使派遣事業については、募金額の減少、国連への寄付額の維持を考慮して、平成21年度は見送り。

5. 海外技術研修員研修事業(独立行政法人国際協力機構委託)

事業名	時期	事業内容
海外技術研修員研修	1月	(1) 実施期間：平成22年1月18日～2月5日 (2) 研修生：カンボジア、タイ、オマーン、ウルグアイ、エクアドル、モルディブ（6カ国 計8名） (3) 研修内容 ① 講義の内容 薬物乱用防止概論、日本における薬物乱用防止啓発活動薬物の乱用、依存、中毒の区別理解の重要性、乱用者の社会復帰 ② 討論 各国の薬物乱用防止啓発活動の現状についての比較研究、今後の啓発活動のあり方 ③ 視察・見学 赤城高原ホスピタル、埼玉県立精神医療センター、刑務所、東京都庁、キャラバンカー

事業名	時期	事業内容
		<p>1号車・・・東北・関東地区 2号車・・・近畿地区 3号車・・・九州・沖縄地区</p> <p>② キャラバンカー見学者等を対象に事業評価のためのアンケート調査を行なった。</p> <p>③ キャラバンカー稼動日数 503 日</p> <p>11月 (3) 薬物乱用を許さない社会環境づくり地域会議 薬物乱用を許さない社会環境を青少年の生活の場である地域から構築するため、ライオンズクラブ関係者・青少年の保護者及び薬物乱用防止指導員等のボランティア、学校・警察などの公的機関関係者などか集まり、薬物乱用防止指導に関する専門家の助言を得ながら、地域における薬物乱用防止のための社会環境づくりのための方策等についての論議検討をした。 開催時期：平成21年11月17日 場 所：広島国際学院大学 参加人員：50名</p> <p>3月 (4) 青少年薬物乱用防止指導員全国交流事業 薬物乱用防止指導員の指導技能の向上と一体性を図るため、各都道府県の薬物乱用防止指導員協議会の代表指導員が一堂に会し、活動状況の報告と意見交換を行う全国交流会議を開催した。 開催時期：平成22年3月2日～3日 参加者：62名</p>

7. 社安研補助事業(財団法人社会安全研究財団)

事業名	時期	事業内容
薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動事業	6月～7月	○ 啓発用「救急絆創膏」作成・配布 「6. 26国際麻薬乱用撲滅デー」の前後に開催される「ダメ。ゼッタイ。」普及運動・国連支援募金運動において、全都道府県に配布した。(573か所)

8. 広報・普及事業(収益事業)

事業名	時期	事業内容
啓発資材販売斡旋事業	4月～3月	薬物乱用防止に必要なポスター、パンフレット等の啓発資材を製作し、希望者の求めに応じて、有償で頒布した。